

交付運用報告書 2021年10月期（2020年11月1日～2021年10月31日）

i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF
iShares J.P. Morgan USD Emerging Markets Bond ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2021年10月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、米ドル建てエマージング・マーケット債券により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年10月末日	
1口当たり純資産価格（基準価格）	109.65米ドル
純資産総額	19,637,828,421米ドル
2021年10月期（2020年11月1日～2021年10月31日）	
トータルリターン	3.80%
1口当たり分配金額	4.350761米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

<その他記載事項>

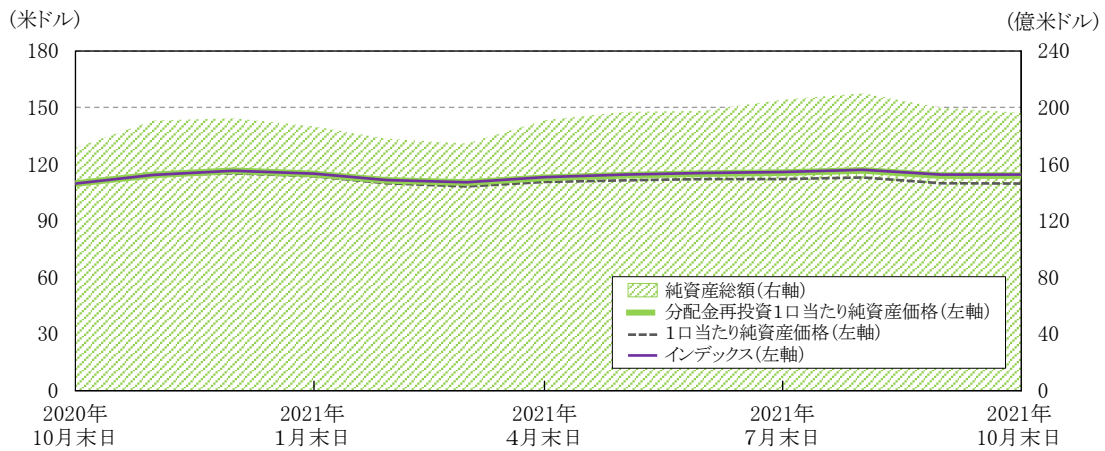
交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：

i シェアーズ・トラスト

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2020年10月末日現在の1口当たり純資産価格：109.82米ドル

2021年10月末日現在の1口当たり純資産価格：109.65米ドル

(1口当たり分配金額：4.350761米ドル)

トータルリターン：3.80%

- (注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注3) ファンドのインデックスは、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス（以下「インデックス」といいます。）です。
- (注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2020年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

グローバル市場概観

2021年10月31日に終了した年度（以下「当年度」）において、グローバル投資適格債は僅かに下落しました。グローバル債券市場パフォーマンスの広範な指標であるブルームバーグ・グローバル総合指数は当年度において米ドル建てでマイナス1.24%のリターンとなりました。

世界経済はコロナウィルスのパンデミックによる影響からの回復を続けたものの、回復は均等なものではなく、課題を抱えていました。複数のCOVID-19ワクチンの開発とワクチン接種プログラムの実施は、世界的にパンデミックの影響を緩和するのに役立ち、多くの国で規制の解除につながりました。しかし、世界の人口の半数近くが当年度の終わりまでに少なくとも1回のワクチン接種を受けたものの、ワクチンの供給には著しいばらつきがありました。感染力の強いデルタ変異株の広がりにより感染者数が急増した地域もあり、再び制限が課され、世界的な成長が抑制されることになりました。

債券のパフォーマンスは種類によって異なりましたが、一般的に、社債は国債よりも上昇し、低格付け債券は高格付け債券よりも上昇しました。経済環境の改善とワクチン接種の進展により、格付けの低い市場セグメントについて投資家は楽観的な見方を示しました。しかし、世界的にインフレが激しくなったため、インフレ環境で典型的に価値を失う債券への圧力となりました。

米国の債券はこれらのグローバルパターンを示しており、利回りを求める投資家の根強い需要に支えられ社債がハイイールド債を中心に堅調なリターンを記録した一方で、米国国債はインフレの進行を主因に下落しました。企業は低い借入コストの恩恵を受けることに躍起になり、連邦政府は景気刺激策やその他の支出に向けた資金調達のために国債を発行したため、債券発行は歴史的にみて高い水準となりました。米国連邦準備銀行（以下「Fed」）は、社債購入プログラムを打ち切ったものの、短期金利をゼロに近い水準に維持し、米国国債やモーゲージ証券の債券購入プログラムについてはかなりの規模を維持しました。Fedは2021年後半には債券買いの動きを減速し始めることを言及しており、この見通しにより2022年に金利上昇の可能性があることが示唆されました。しかし、雇用環境の改善や急激なインフレを受けて、投資家は金融引き締めによる更なる加速を予想するようになりました。2022年に複数の金利が上昇する可能性が高いと投資家がみていることが、トレーディング活動より明らかになりました。

欧州の債券価格は、サプライチェーンの摩擦やエネルギー商品を中心としたコモディティ価格の上昇がユーロ圏のインフレ率を過去13年で最も高い水準に押し上げたことから、全体として下落しました。これを受けて、欧州中央銀行（以下「ECB」）は、ベンチマーク金利をゼロ%に維持しつつ、債券購入ペースを鈍化させました。EUは、パンデミックからの回復資金の一部を賄うため、200億ユーロの欧州共通債券を発行し、投資家の高い関心を集めました。比較的早期にワクチン接種が実施され、堅調な景気回復が見られていた英国においても債券価格は下落しました。イングランド銀行は過去最低水準の金利を維持しましたが、インフレの高まりに対応するため、間もなく金利を引き上げることを示唆しました。

対照的に、アジア・太平洋地域の債券は総じて堅調に上昇しましたが、上昇は大部分が、社債、特に格付けの低い市場セグメントの社債に集中していました。日本国債は、他の地域に比べてインフレ懸念がはるかに低く、また日本銀行は金融引き締めの兆しを見せなかったため、ほぼ横ばいでした。新興国市場債も、低

金利環境のもとで投資家が収益を求めたことから、先進国よりも高い利回りが追い風となり、上昇しました。しかし、当年度終わりに、多額の負債を抱える中国の不動産企業を取り巻く懸念が、一部の新興国市場債のリターンを押し下げました。

1. 運用の経過

i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF

2021年10月31日現在のファンド概要

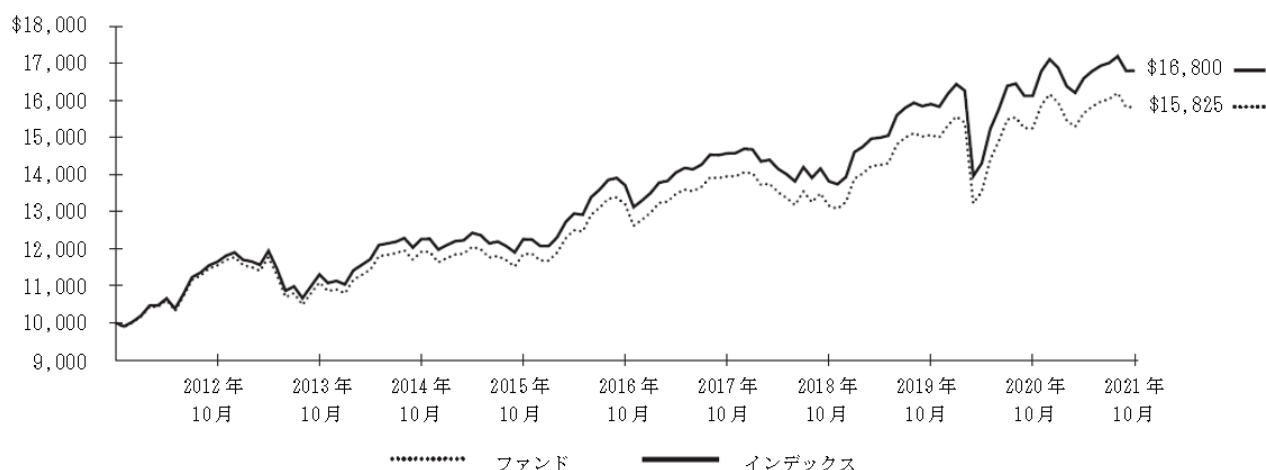
投資目的

i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF（以下「ファンド」）は、J.P. モルガン EMBI グローバル・コアインデックス（以下「インデックス」）に代表される、米ドル建てのエマージング市場債券からなるインデックスの投資成果に追随することを目指しています。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、しない場合もあります。

パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	3.80%	3.71%	4.70%	3.80%	19.96%	58.25%
ファンドの市場	3.83%	3.75%	4.63%	3.83%	20.18%	57.22%
インデックス	4.22%	4.15%	5.32%	4.22%	22.54%	68.00%

10,000 米ドル投資の純資産価額の推移



過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンドの分配時あるいはファンド受益証券の償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	費用比率 (年率)
2021年5月1日 1,000.00 米ドル	2021年10月31日 1,011.10 米ドル	1.98 米ドル	2021年5月1日 1,000.00 米ドル	2021年10月31日 1,023.20 米ドル	1.99 米ドル	0.39%

^(a) 費用は、当期間中の口座の平均価額に、ファンドの年率換算された費用比率（上記の表に開示される通り）および当期間中の日数（184日）を乗じ、当年度の日数（365日）で除すことによって算出されています。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

ポートフォリオ管理の説明

米ドル建新興国市場債は、当年度において広範に上昇しました。多くの国において金利上昇が見られたものの、金融緩和政策、投資家のリスクテイク意欲の高まり、低金利環境下での利回り追求が、新興国市場債のパフォーマンスを支えました。

国別では、金利が上昇しインフレが進む中においても、主に大規模国営石油会社が発行した債券のパフォーマンスを反映して、メキシコ債がインデックスのリターンに最も貢献しました。石油会社は、石油・ガス価格の上昇と、当年度における2つの製造施設での火災発生後に政府が財政支援を行うとの期待があったことによる恩恵を受けました。

オマーン債もインデックスのリターンに対する堅実な貢献者となりました。オマーン政府は、石油価格の上昇による歳入増の中で歳出削減と増税に努め、比較的大きな財政赤字を削減しようとしていました。オマーン政府は、投資家からの旺盛な需要に応え、当年度において32億5000万米ドルの債券を発行しました。トルコ債は、同国の高いインフレ率と金融緩和政策にもかかわらず、投資家が極めて高い利回りに惹かれたため、当年度終わりに反発しました。マイナス面としては、コロンビアが投資適格からハイイールドに格下げとなり、ペルーの政情不安もあり、これらの国々により発行された債券がインデックスのリターンを引き下げました。

信用格付け別では、B、Ba、Caaなどのハイイールド低格付け債が、強い利回り要求を反映して、インデックスのリターンに最も貢献しましたが、高格付けローイールド債はインデックスのリターンを僅かに引き下げました。満期別では、平均でインデックスの約69%を占める満期7年超の債券がインデックスのパフォーマンスに最も貢献しました。

ポートフォリオ情報

格付け別内訳

ムーディーズ格付け*	総投資比率 ^(a)
Aa	7.0%
A	14.2
Baa	32.5
Ba	18.9
B	18.8
Caa	3.9
Ca	0.3
格付けなし	4.4

組入上位 10 カ国

国／地域名	総投資比率 ^(a)
メキシコ	5.6%
インドネシア	4.9
サウジアラビア	4.6
アラブ首長国連邦	4.5
カタール	4.4
トルコ	4.0
ロシア	3.8
中国	3.7
フィリピン	3.5
ペルー	3.3

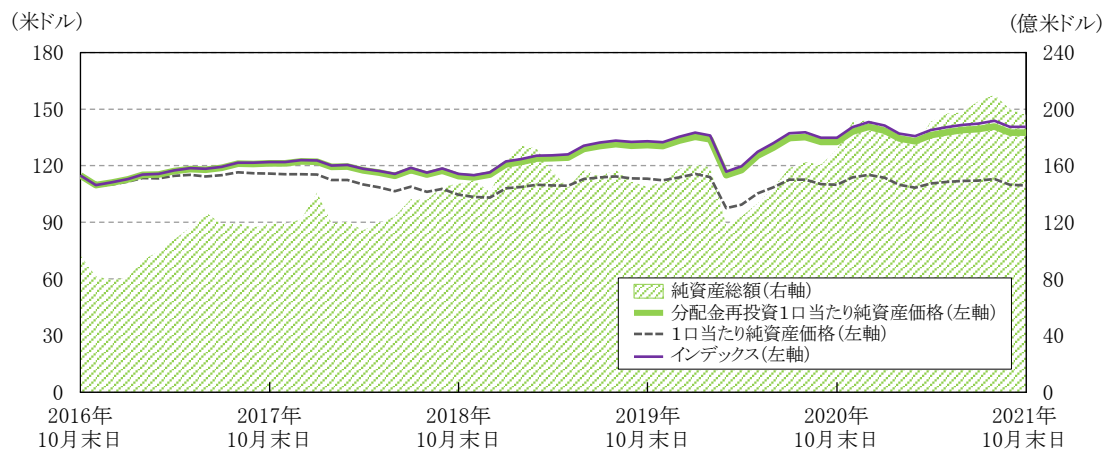
* 上記の信用格付けは、広く利用されており独立した、全国的に認知度の高い統計的格付け機関であるムーディーズ・インベスターズ・サービス（以下「ムーディーズ」）が指定した格付けです。ムーディーズの信用格付けは、個々の債券の信用の質や発行体の総体的な信用度に関する意見です。投資適格はBaa以上の信用格付け、投資適格を下回る格付けはBa以下の信用格付けを指します。格付けなしの投資は、必ずしも信用の質が低いことを意味するものではありません。信用格付けは変更されることがあります。

^(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

費用の明細

項目	項目の概要		
投資顧問報酬	投資顧問報酬	平均日次純資産総額	ファンドに提供する投資顧問サービスの対価
	0.4000%	190億米ドルまで	
	0.3800%	190億米ドル超、330億米ドル以下	
	0.3610%	330億米ドル超、470億米ドル以下	
	0.3430%	470億米ドル超	
その他の費用	0%		その他

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

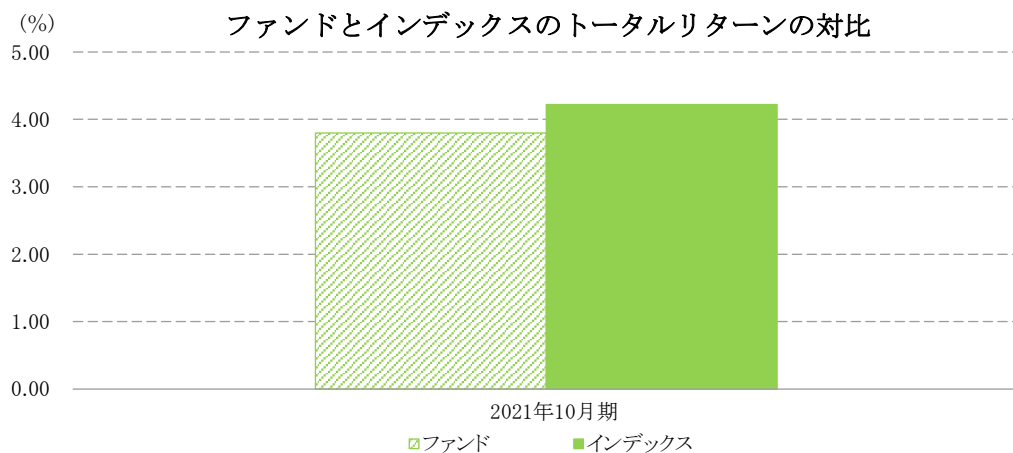


	2016年 10月末日	2017年 10月末日	2018年 10月末日	2019年 10月末日	2020年 10月末日	2021年 10月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	114.74	115.92	104.57	113.14	109.82	109.65
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	5.169199	4.923473	6.121363	4.563701	4.350761
ファンドのトータル リターン (%)	—	5.74	-5.68	14.50	1.20	3.80
インデックスのトータル リターン (%)	—	6.26	-5.17	15.08	1.40	4.22
純資産総額 (千米ドル)	9,649,296	11,928,210	14,744,730	14,482,306	17,208,257	19,637,828

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2016年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

ベンチマークとの差異について



分配金について

当期（2020年11月1日～2021年10月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 ^(注2)
2020年11月2日	109.53	0.395698 (0.36%)	-0.18
2020年12月1日	113.62	0.395751 (0.35%)	4.49
2020年12月17日	114.82	0.395201 (0.34%)	1.60
2021年2月1日	113.37	0.361606 (0.32%)	-1.09
2021年3月1日	110.07	0.350624 (0.32%)	-2.95
2021年4月1日	108.42	0.34804 (0.32%)	-1.30
2021年5月3日	110.12	0.347621 (0.31%)	-2.05
2021年6月1日	111.14	0.357775 (0.32%)	1.38
2021年7月1日	111.56	0.355466 (0.32%)	0.78

2021年8月2日	112.03	0.350305 (0.31%)	0.82
2021年9月1日	112.66	0.347547 (0.31%)	0.98
2021年10月1日	109.51	0.345127 (0.31%)	-2.80

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率 (%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2020年11月2日の直前の分配落日 (2020年10月1日) における1口当たり純資産価格は、110.11米ドルでした。

《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建て／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、米ドル建てエマージング・マーケット債券により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは、通常その資産の80パーセント以上をJ.P. モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス（J.P. Morgan EMBI Global Core Index）（以下「インデックス」といいます。）を構成する有価証券に、その資産の90パーセント以上をインデックスに含まれている種類の固定利付債券であって、ファンドがインデックスを追跡するために役立つとBlackRock Fund Advisorsが考えるものに投資します。
運用方法	ファンドは、新興市場国において活発に取引される対外債務証券のトータルリターンを追跡する、広範で多様な米ドル建てエマージング・マーケット債券のベンチマークであるインデックスに連動する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、「パッシブ」またはインデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体としてインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上を特定の産業または産業グループの証券に投資すること）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および州または地方自治体もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。 2. 借入を行うこと。但し、（i）ファンドは、これを行わなければ時機を失した証券の処分を要することとなる買戻請求に対応することを含む臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、（ii）ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。（i）および（ii）の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33%パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。 3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 5. 不動産、不動産抵当、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限は、証券もしくはその他の証券を所有した結果として取得すること（不動産事業に従事する会社の証券または不動産もしくはモーゲージにより担保された証券もしくはその他の証券への投資を含みます。）またはファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。）を禁止するものではありません。 6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。

分配方針	純投資収益からの分配金（もしあれば）は、最低でも毎年宣言され、ファンドから支払われます。証券の実現純収益（もしあれば）の分配は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、ファンドに関してより頻繁に分配を行うことができます。ファンドの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益または実現利益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要または望ましいとファンドがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。
------	--

《ファンドデータ》

組入資産の内容（2021年10月期末現在）

組入上位資産

(注) 組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

(注1) ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため記載することができません。

(注2) ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

2021年10月期末	
1口当たり純資産価格	109.65米ドル
純資産総額	19,637,828,421米ドル
発行済口数	179,100,000口

2021年10月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
77,600,000	55,200,000	179,100,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。